

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年2月27日

公表: 令和5年3月1日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスじゃんぷ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		利用人数・状況により検討します。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・室内の段差部分は移動しやすいようスロープが置かれている。 ・段差にはスロープを設け、階段には滑り止めを施している。緊急時の対応はマニュアルを張り出している。	状況に応じて検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・使用したおもちゃの消毒、整理整頓を常に心がけている。子供たちが好きなおもちゃを自由に手に取れる配置になっている。 ・日々の清掃は手を抜かず、また安全な環境を整えている。	感染症防止に努めながら、引続き消毒の徹底等を継続して行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・個別支援計画に基づき、実行・評価・改善が行われている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		今回の結果を改善に生かしていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・ホームページで公開している。	今回の結果を改善に生かしていきます。また全利用者に結果を配付するとともに、ホームページで公開します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		外部評価は実施していませんが今後検討します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・職員レベルに合わせ参加できている。 ・zoomで研修を受ける機会がある。	外部研修等についても積極的に参加できる体制を作っています。
適切な支援	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		全職員の意見を踏まえて作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		全職員の意見を踏まえて作成しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・適宜行っている。 ・季節の行事や子どもの特性に合ったものを、スタッフ間で話し合い決めている。	月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを立案しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・日々、予定の検討を行っている。 ・粗大運動、微細運動、季節の行事に合ったもの、天候に応じてお散歩、外遊びなど、固定化しないよう心がけている。 ・発達に応じ、その子なりの課題を見据えて活動をプログラムしている。	月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを立案しています。

振の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		適宜、個別支援、集団支援を組み合わせながら個々の支援内容に沿った支援を行っています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 朝の打合せを行っている。 前回または前日の振り返りを踏まえ、子どもの特性による細かい支援内容の違いを常に確認している。 毎朝かならず行っている。 朝の会や活動前に行っている。 	毎朝必ず行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> その都度情報を共有し、さらに記録に残している。 記録を書く際、不安な点等はどうやむやみせず必ず相談する。 活動後や、翌日の打合せなどに行っている。 	急を要するときは実施していますが、基本的には翌朝に行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 記録に残し、子供のできなかったこと、出来たこと等変化を確認し、意識しながら療育している。 記録がないと記憶だけで自分の支援の振り返りをしなければならぬため必要不可欠。 	写真や動画を基に検証しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		全職員の意見を取り入れています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		児童発達支援管理責任者の他、1名は必ず参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 万が一の場合の対応図を作成している。 	体調不良をすぐに察知できるよう、てんかん症状、食物アレルギーのある児童については個別で緊急時対応マニュアルを作成しています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 対応図を担当医にチェックしていただいている。 	体調不良をすぐに察知できるよう、てんかん症状、食物アレルギーのある児童については個別で緊急時対応マニュアルを作成しています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所を含め行われている。 	保護者の意向を踏まえながら、幼稚園等と連携を図っています。必要に応じて情報提供書を提出しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		保護者の意向を踏まえながら、幼稚園等と連携を図っています。必要に応じて情報提供書を提出しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> 市が管理する施設(児童会館、コミセン等)などに活動として訪問することがある。(場の共有ができた) コロナ禍のため、子ども園等との交流は行っていない。 	今般の状況を踏まえ、今年度は控えています。今後も状況を確認しながら検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時、子供の様子を尋ねたり伝えたり、その都度共通理解を図るよう努めている。 連絡ノート、送迎時等、保護者との会話を大事にし、相談や助言を受け入れやすい関係を心掛けている。 	相談しやすい環境づくりに気を配っています。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	・必要に応じて支援している。	保護者に寄り添いながら問題解決に繋がるように努めています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・定期的に面談を行い、更に送迎時または連絡帳にて相談等があればスタッフ間で共有し、適切に対応している。 ・保護者からの相談また小さなSOSを見逃さず、保護者の気持ちに寄り添うことを大切にしている。 ・面談を行っている。また相談があった場合、その後も定期的に連絡を取り合っている。	保護者に寄り添いながら問題解決に繋がるように努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	・定期的に面談を行い、更に送迎時または連絡帳にて相談等があればスタッフ間で共有し、適切に対応している。 ・各家庭、保護者の生活スタイルに配慮している。 ・コロナ禍のため行うことができない。	保護者への負担を避けるため保護者会の結成は行っていません。必要に応じて保護者同士の連携が図れるように努めています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・電話や送迎時、面談等で迅速に対応している。	相談しやすい環境づくりに気を配っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・月ごとに配付している。 ・月1回おたよりえを発行し、普段の様子や活動の予定などについて知らせている。	日々の療育内容等をわかりやすく伝えられるように努めています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・来客者が来る際には子供の名前が記載されているものは必ず伏せる。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・送迎時、子供の様子を伝えながら話しやすい雰囲気づくりを心掛けるとともに、連絡帳も活用している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	・各家庭、保護者の生活スタイルに配慮している。 ・コロナ禍のため行っていません。	今般の状況を踏まえ、今年度は控えています。今後も状況を確認しながら検討していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		避難訓練の際、事前にマニュアルの読み合わせを行ったうえで実施しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・避難訓練を行い予期せぬことが起きても臨機応変に対応できるようにしている。 ・今年度は水害と地震の想定で2回行っている。	避難訓練の際、事前にマニュアルの読み合わせを行ったうえで実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・てんかんのある子どもにはマニュアル通り対応が徹底されている。 ・発作時の対応等職員が共有している。	保護者、事業所の他、幼稚園等と相互に確認できるように工夫しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・台所の見える所にアレルギーのある子ども、食べられない物を貼りだし、食事やおやつ提供には十分気を付けている。 ・見やすい場所に資料等張っている。 ・アレルギーを持つ子供の状況を把握するため、対応一覧表を作成している。	職員相互で確認できるように工夫しています。またマニュアルを作成し、万が一のときに備えています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・「ヒヤリ」「ハット」した出来事がいつか重大な事故につながるよう対策している。	事業所内研修などに用いながら再発防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		虐待防止研修の他、業務打合せの中で報道も含め内容を共有の上、日々意識を高めるように努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		現在まで実施例はありません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。